



小田小だより

平成27年 4月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL 045(775)3011

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/>

横浜市立小田小学校



ご入学、ご進級おめでとうございます！

～今日の佳き日に思いを寄せながら～

学校長 木村 昭雄

柔らかな春の陽射しを受けながら、今日の佳き日を祝福するように校庭や職員玄関前の花々が誇らしげに咲いています。小田小学校で迎える3度目の私の春も、夢と希望と期待に満ちあふれています。

春爛漫の今日、106名の元気な1年生が入学し、全校児童639名で、平成27年度がスタートいたしました。保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。お子様の成長する姿をご覧になって、頼もしく思っておられることでしょう。

そして、春は出会いと別れの季節。職員もご案内のように、これまで本校の教育活動の推進と発展にご尽力くださいました中山光恵副校長はじめ、8名の職員の方々が退職、休職及び転任され、新たに12名の職員が着任いたしました。旧職員へのこれまでの温かいご支援に対しまして、心よりお礼を申し上げますとともに、新たに着任しました職員に対しましてもこれまでと同様にご理解、ご支援をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。なお、異動の詳細につきましては、次のページをご覧ください。また、離任式の日時と合わせて別プリントでもお知らせいたしますので、よろしくお願ひいたします。

さて、皆様方の現在の関心は、子どもたちの成績でしょうか、友人関係でしょうか、あるいは基本的な生活習慣や躰、道徳心でしょうか。いずれもとても大切なことです。

そこで、私からこれができれば学校でも家庭でも、そして小学校だけでなくずっと生涯大丈夫という、とっておきの事柄を紹介させていただきます。

これから紹介する三つのことがどこでも、いつでもできる子どもに育てば、誰からも好かれ、成績も友人関係も上手くいくといわれている魔法のような事柄です。それは、「教育の父」と言われた森信三の「躰の三原則」というものです。

まず、一つ目は「挨拶」です。挨拶を先にするのは、年上からでしょうか、年下からでしょうか。それは、先に気がついた方からです。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」・・・日本語には美しい言葉がたくさんあります。新入社員が一番最初に教わることは、会社の仕事の中身より挨拶の仕方の方です。

二つ目は「返事」です。誰かに呼ばれたら「はい」と返事をします。私が学級担任として子どもたちに教えた時には、「はいっ。」と最後の句点まで黒板に書き、短く言わせるようにしていました。国民的詩人と言われている坂村真民は、『「はい」という言葉は、人間の一番美しい言葉だ、人間の一番純な言葉だ』と書いています。

最後は「脱いだ履き物を揃える」ということです。ご家庭の玄関をちょっと思い出してみてください。簡単そうに見えて、私はこれが一番難しいと思っています。それは、人が見ていないからです。挨拶も返事も相手がありますが、履き物を揃える時は、玄関でもトイレでも一人の時の多いのです。なぜ履き物を揃えることがそんなに大事なのでしょうか。履き物を揃えるのは、自分の「我」を捨てることだと聞いたことがあります。「我」というのは、「我が強い」という言葉があるように、自分の考えに凝り固まって人の話に耳を貸さないことです。履き物を揃えるという行為は、一度立ち止まって、振り返って、身体をかがめて、両手で揃えます。その行為が「我」を捨てることになるのだと聞きました。物を整えることは、心を整えることにつながります。脱いだ履き物を揃えることは、心を整えることにもなります。

小田小学校は、本年度も「あいさつをしよう」「整えよう」の二つの生活目標の具現化を目指しながら、子どもたちの心の育ちを支援してまいります。これまで同様、保護者や地域の皆様方の支えをいただきながら、「チーム小田」を合い言葉に、職員一同、教育活動の一層の充実に努めてまいりたいと思っております。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。